

(1)児童の体力の現状

○5年男子は、握力、シャトルラン、50m走、ソフトボール投げで全国平均を上回っている。
○5年女子は、握力、長座体前屈、50m走で全国平均を上回っている。
●上体起こし、反復横跳び、立ち幅跳びは男女とも全国平均を下回っており、筋力や筋持久力、俊敏性、瞬発力に課題がある。さらに、女子はシャトルラン、立ち幅跳び、ソフトボール投げなど全国平均より5ポイント前後も低い結果となっており、課題が大きい。
○握力は、1.3.4.5.6年の男子、5.6年の女子で平均記録が県平均を上回っており、筋力の定着に一定の成果があった。
○立ち幅跳びは1.3.4.6年の男子、1.3.6年の女子で県平均を上回っていることから、筋力・瞬発力に一定の成果があった。
●上体起こしは、1.3.5年の男子、1～5年の女子で県平均を下回っていることから、筋力と筋持久力に課題が見られる。
●長座体前屈は、1.2.3.4.6年の男子、1.3.4.6年の女子で県平均を下回っており、柔軟性に課題が見られる。
●反復横とびは、1～5年の男女で県平均を下回っていることから、敏捷性に課題が見られる。
●シャトルランは、全ての学年で男女とも県平均を下回っており、全身持久力に大きな課題が見られる。
●50m走は、1.2.3.4.6年の男子、1～5年の女子で県平均を下回っており、スピードに課題が見られる。
●ソフトボール投げでは、2.3.4.6年の男子、1～5年の女子で県平均を下回っていることから、巧緻性に課題が見られる。
●全体的に、昨年度よりも県平均を下回る結果となった。特に、女子の結果が低く、多くの課題が見られた。

(2)令和元年度の具体目標の達成状況と課題

○児童意識調査「健康に気をつけて元気に運動している。」肯定的回答は92%で達成できた。(学校評価)
○保護者意識調査「心身ともに健康で、たくましく生きぬく子どもに育っている。」肯定的回答は96%で達成できた。(学校評価)
○泳力25m以上泳ぐことができる児童の割合は、60%(3年37%,4年46%,5年71%,6年85%)で達成できた。(H27・・・58.4% H28・・・63.2% H29・・・62.4% H30・・・63.9% R1・・・60%)
●逆上がりができる児童の割合は47%(1年22%,2年31%,3年33%,4年56%,5年60%,6年73%)で達成できなかった。(H27・・・52.0% H28・・・50.6% H29・・・52.7% H30・・・50.9% R1・・・47.0%)
○今年度、姿勢体操のCDを作成し、各学級で姿勢体操を始めることができた。
○全身持久力を養うため、今年度からマラソンカードに新たに取り組み始めた。
○委員会活動(体育委員会)と連携して、スポーツ集会(リレー大会・大縄大会)を行うことができたことで、児童は教科外の時間に進んで運動に取り組むことができた。
○職員研修を1学期の始め(サーキット・5種目歩走)と3学期始め(縄跳び検定)に行うことができた。
●5年生の意識調査では、男女の差が見られた。全体的に男子は肯定的な結果であるが、女子は「運動が好き」「体育の授業は楽しい」という結果が全国平均を下回っている。また、特に「体力向上の目標を立てている。」という項目が全国平均を10ポイント以上下回っている。自分の目標を立てそれに向かって努力していく取組が必要である。

(3)令和2年度の取組【対策】

①学校における取組

- ・鉄棒で逆上がりができる児童の割合を60%に向上させるための取組を継続して行う。
 - ◇校内に設置した鉄棒を効果的に活用する。
 - ◇体育の時間に、逆上がりの練習をする時間を、年間を通して設けていく。
 - ◇鉄棒強化月間を設定する。(5月・10月)
 - ◇年間を通じて、5種目歩走を授業時に取り入れる。それにより、体幹を鍛え、体力アップを図る。
 - ◇指導者研修を行う。
- ・体育授業の改善を図る。
 - ◇めあての確認、学習の振り返りを適切に行う。(特に個人内評価ができるようなめあてを立てる。)
 - ◇教師による運動のポイントの提示。(iPadなどIT機器の活用)
 - ◇児童が互いに学び合う場面の設定。(グループ学習や技を習得している児童の見本。)
 - ◇教員同士の授業参観の実施、及び、体育に関する研修の伝達講習の実施。
- ・体力・運動能力調査で大幅に県平均を下回った全身持久力を強化する取組(マラソンカードの活用)
- ・教科外体育の奨励
 - ◇委員会と連携したスポーツ大会の実施や、トレーニングの紹介。

②地域や家庭との連携による取組

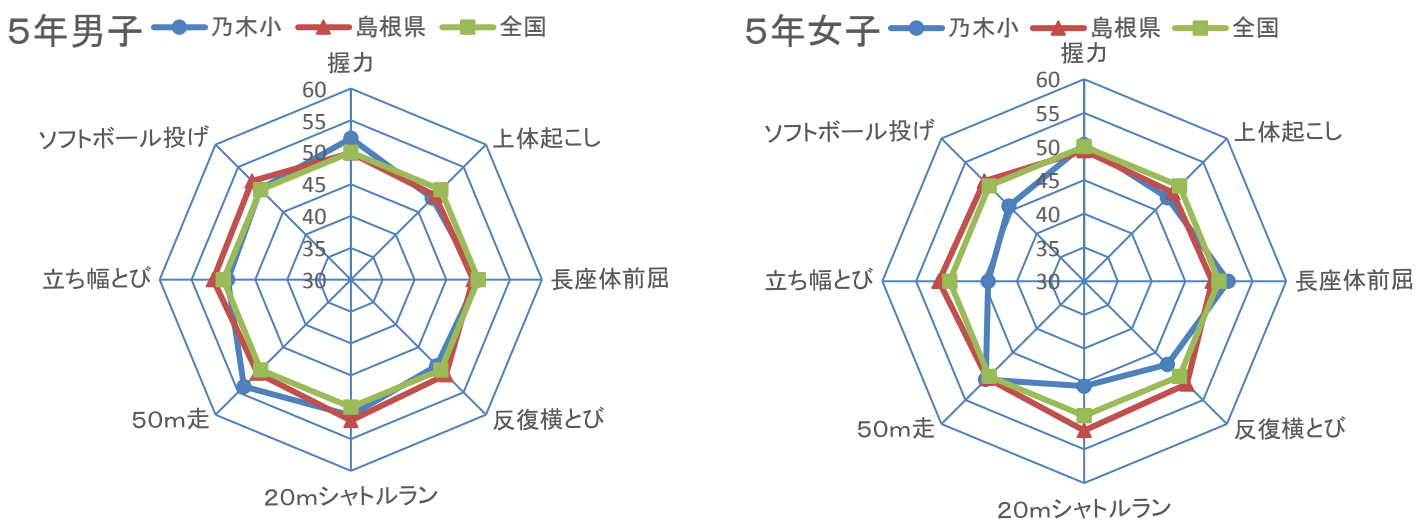
- ・地域の体育的行事積極的に参加するよう呼びかけ、地域との連携を図る。

③体力向上をめざした生活習慣の確立、食育推進の取組

- ・栄養教諭と連携し、「食の学習ノート」「食生活を考えよう」を活用した授業を行う。
- ・養護教諭と連携し、発育測定時などに生活習慣に関する指導を行う。

調査実施者数(人) 1年(男子75・女子67) 2年(男子74・女子79) 3年(男子84・女子76)
4年(男子66・女子85) 5年(男子72・女子78) 6年(男子90・女子88)

(4)5年生 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)



(5)全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査 5年生意識調査の結果

